

学校だより 芝っ子

令和6年10月28日
松本市立芝沢小学校



ひびかせよう芝っ子ハーモニー ～校内音楽会の様子から～

10月25日は、校内音楽会でした。

1年生は、初めての音楽会。「だれにだってお誕生日」の歌を元氣よく歌いました。自分の誕生月には大きな声で「はい!」と返事ができました。また、「今日も明日も1年生」という歌では、「7年前に生まれてぼくらは小さななかま」という歌詞のところを、一人ひとりがかけがえのない大切な存在で、入学してから半年、みんなで一緒にがんばって成長してきたという思いで歌いました。けんぱんハーモニカでは「きらきらぼし」を心一つに演奏しました。



2年生は、パリオリンピック・パラリンピックで流れていたYOASOBIの「舞台上に立って」を歌いました。

転調や高い音があり、とても難しい曲でしたが、「自分たちもがんばる気持ちになれる」と一生懸命に歌いました。合奏は、子どもたちのお気に入りの今年の大ヒット曲「Bling Bang Bang Born」。自分たちの大好きな曲をみんなに聴いて楽しんで欲しいという気持ちで演奏しました。



3年生は、初めて習ったリコーダー奏「かっこう」に挑戦しました。かっこうが鳴く姿を思い浮かべながら、きれいな音で演奏しました。また、「ミッキーマウスマーチ」は、楽しいメロディを奏でられるようにがんばりました。また、歌は「チャレンジ」を斉唱しました。元氣な3年生にぴったりの曲で、「何ごとにも全力で挑戦しよう」という気持ちで元気に歌いました。

4年生は、「ぼくらの未来へ」を合唱しました。今年10才という節目の年を迎えた子どもたち。「夢に向かって一歩ずつ、勇気をもって歩いていこう」という気持ちを込めて歌いました。曲の最後には初めての3部合唱に挑戦し、きれいなハーモニーを奏でました。合奏は、6月の運動会でダンスを披露した曲「ダンスホール」。みんな大好きで、ノリノリでリズムカルに演奏しました。

5年生は、合唱「Change!」合奏「アフリカンシンフォニー」。「Change!」には、『どうせ…なんてせりふばかり 言い訳にしながら 居心地の悪さを感じ始めているのに 気にしないふりをして 今日また笑ってみるけど かかえてる弱気な言葉 どこかに全部すてたくて』という歌詞があります。この2曲の演奏を通して、新しい自分を見つけない、そして今よりもっと自分を好きになる、そんな“Change”を目指して演奏しました。



6年生は、小学校最後の音楽会です。合唱曲は子どもたちが「HEWAの鐘」を選びました。『ぼくらの生まれたこの星に 奇跡を起こしてみないか』という歌詞に惹かれ、思いを込めて歌いました。そして、合奏「Paradise Has No Border」は、ステージは自分たちだけのものではない、会場にいる全ての人たちを楽しませよう、という思いでパフォーマンスを繰り広げてくれました。芝沢小の先頭に立つ、最高学年にふさわしい発表でした。

金管バンドは、2曲演奏しました。「ロンドンデリーの歌～よろこびの序曲～」は、美しい旋律を丁寧に、強弱に気をつけて演奏しました。「Mela!」は、リズムに乗って楽しく演奏しました。それぞれ異なった曲想がうまく表現され、日頃の練習成果が表れました。

演奏発表を通して、子どもたちは、友だちと心を合わせて演奏することの楽しさを感じたり、互いの演奏を聴き合うことを通して、音楽の楽しさや美しさを味わったり、他学年の演奏のよさを感じたりすることができたと思います。そして、何より音楽会を通して得た達成感や満足感は、また一つ子どもたちに自信をつけ、子どもたちを成長させてくれたと思います。お忙しい中、参観してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。